4年前の市長選挙で

10

・とおの約束

の約9割が「達成」または「着手現に全力を挙げてまいりました。 私は、4年前の市長選挙で

その実

9割が「達成」または「着手」とい全力を挙げてまいりました。そ

どの関係機関とのパ

・シップ

災地の支援活動に取り組んでまいりまと気持ちを一つにしながら沿岸被 身全霊を傾けてまいりました。 の役割を常に考え、3万市民の皆さ べき二つの大きなことがあります。 よるまちづくり」の 4年間を振り返りますと、 東日本大震災です。 推進のため、今

心に刻む

本市

この

全に

後、 がこの記念事業でした。数々の取りくりに取り組むために位置付けたの 記念事業です。平成77元つ目は、遠野物語発刊 まちの力とふるさとへの誇りに 一つひとつが新たな物語であ 民一体となり、新たなまちづ事業です。平成17年の合併目は、遠野物語発刊100周

「誠心誠意」「一所懸命」「全力投球」で

12月市議会定例会で行った所信表明演述の要旨をお伝えします

基本姿勢と五つの視点

任を未来につなぎます。 次の五つの視点に立ち、 政課題の解決に取り組むに当たり 「公平・公正・公開」を基本とし、 託された責 特に

行財政改革の推進と第3セクタ ス(基礎的財政収支)の確保に努めて 財政を維持し、 方交付税が減少傾向にある中、 二つ目は「推進」です。 プライマリーバラン 健全

> ます。五つ目は「展望」です。交通インフラ整備が進む中、交流人口の拡大、雇用の場を確保するため、当市が持つさまざまな優位性や独自性を踏まえた未来の展望を見い出してまいります。 中、いかにして健康寿命を延ばすかいて、検証を加速させます。四つ目成」「庁舎機能のあり方」の3点につ した。10年後、30年後 と官民一体の した「地域コミュニティ 人を構成員とする第二次進化まちづ 今年5月 保健、 仕組みを、 30年後をイ 医療、

30年先を常に意識してまいります。 この五つの視点を基に、 年先

する支援を強化

私が公約として掲げた、直ちに取るが公約として掲げた、直ちに取 私が公約として掲げた、

の構築を推進します。 高齢化率が高まる 外部有識者7 三つ目は「加 6す。四つ目 の3点につ をイメージ 再び構築し 福祉の連携 トさせま

*二つの緊急課題

一つ目は、地域経済取り組みについてです 地域経済の

交流人口の拡大についてで 振興と雇用

産業ですが、 PP問題や減反政策の見直しなど、 は、高齢化や後継者不足に加え、 本市の農業は、 農業を取り巻く環境 地域を支える基幹

> 林畜産業の振興をさらに加速させまフ・ビジョン」を基に、足腰の強い農 支援」、「新規就農者の確保らの課題に対応するため、 市農林水産振興ビジョン、 の集積」を推進するとともに、 「新規就農者の確保」、 通称「タ 「担い手

品開発への取り組み、 向け、 た産業連携、いわゆる6次産業化にめ、第1~3次産業の枠組みを超え また、多様なニーズへの対応のたなどの環境づくりに取り組みます。る工場適地の確保、交流人口の拡大 化や、 ンフラの整備に伴い、えてまいりました。 田線の工事が進み全通することが見 農産物加工施設の整備や加工 遠野東工業団地をはじめとす これらの交通イ 販売促進に対 地場産業の強 動車道釜石秋

の再整備、宮守町の「mm1」やめが心とする町家・商家の景観保全などいとする町家・商家の景観保全などによるSL運行を機軸に、JR遠野 ね橋周辺の環境整備にも取り組みまの再整備、宮守町の「mm1」やめが 来春に予定されて いる JR東日本

をキャ 対策と教育環境についてです。 二つ ・ッチフ 「子育てするなら遠野」 レーズとした、 少子化

会、遠野市保育協会などとの連携を 合支援センターを中核に、教育委員 ができるよう、 保護者の皆さまが安心して子育て 引き続き、 子育て総

4年間、 市長として市

つ目は「維持」することです。

挑戦します

市政課題解決へ

どはがネッ 約束」を全職員が共有し、 絆が育まれております。 き合わなければならないと考えてお なりません。 政は将来を見誤らない展望、 束」として64項目を掲げました。 待ったなしの課題です。 **ヶません。加速される高速交通未来を見い出していかなければ** 健全な地域コミュニティ 人と人を結び、 トワークに備えた、 私はさらに遠野を発展させ て64項目を掲げました。行あらためて「10・とおの約 地域と地域との 地域づくり 「10・とおの 仕事に向 遠野に そし な

度の充実にも取り組みます。

年の歳月をかけて進めてきた中 編成の取り組みが実を結び

とした住宅リフォ 団地化の推進や、

れ目ない子育て支援に取り組み

う結果となりました。

本市の将来人口は、約30年後に会保障・人口問題研究所が発表し

,786人まで減少すると推計の将来人口は、約30年後には にのが来人口は、約30年後には

る新たなまちづくりの仕組みを構築

なりません。

課題は山積しております。

その

イナミックに推進して

いかなければ

していかなければなりません。

そのため、

今年5月に立ち上げた

避けて通れないことですが、

されています。

人口減少、

高齢化は

未来を意識した「遠野市の再生」をダ 地勢的」優位性を最大限活かし、

基盤として捉え「地理的、歴史的、目然・歴史・文化・風土」をゆるぎな

然・歴史・文化・風土」をゆるぎ

宮守地区の子育て支援住宅

子育て支援を目

奨学金制

をまちづくりに反映させた 市民の 「市長と語ろう会」を 皆さまの意見・提言

このことを職員にも常に求めてきま

ところです。

平成25年12月1

日 の

人事異動で

うことを意識してきました。

また、

りたい

とあらためて覚悟して

「体育」といった総合的な学力、

自ら

力で未来を切り拓く基礎学力の向

上に取り組みます

成28年には「希望郷い

わて国体」

を担う子どもたちが、「知育」「徳育」

ることができました。

今後は、

次代

遠野東中学校、

日から、

遠野西中学校の

順調なスター

トを切

れながら、検討を生りこれをがら、検討を生りこれを取り入れながら、検討を生りこれを取り入れながら、検討を生りこれを表えている。

「第二次進化まちづくり検証委員会」

う言葉を大切にしながら「永遠のをやりくりし、「ぬくもり」「絆」と

-のふるさと」として着実な発展を言葉を大切にしながら「永遠の日やりくりし、「ぬくもり」「絆」といい、厳しい行財政の中において財源、

本のふるさと」として着実な発展

「タイミング」を失することなく、

常に私は、

「スピード」感を持ち、

バランス」感覚を保ち、

「ネット

には「誠心誠意」、課題に挑戦」懸命」やらせていただきます。

してま

「全力投球」します。

そして、

。「一所

ゆまぬ努力と挑戦の気概を持 遂げることができるよう、

今後もた

ク」を構築しながら総合力で行

**挑戦の4 年

の気概」を持ち、課題解決に取り組ご支援をいただき、ひたすら「挑戦中で多くの市民の皆さまのご理解と中で多くの市民の皆さまのご理解と んできました。 震災後」と、 「合併前・合併後」そして「震災前・ 市町村を取り巻く情勢

り組みます。
り組みます。
り組みます。
別は、地域文化の保全・継承にも取ると、遠野遺産認定制度の一層の充実

体成功に向けた準備を進めてまいり

場などの環境整備に取り組むほか

の会場地に決定しております。

サッカ

少年

遠野運動公園陸上競技

役所内に推進組織を立ち上げ、国

民の皆さまとお約束した課題解決に 野市のまちづくり」計画により、 力で取り組み、 合併から早や8年。 おおむね約束事項 この間「新遠 市

業には、

求められます なる改革のため、 の挑戦」を掲げ、 私は「遠野スタイ

全力投球で取り組 遠野市政のさら に把握する中で、 との「恊働作業」が必要です。 を視野に体制整備を図りました。 を解決するなどのため、 ルギービジョン策定という重要課題 市政を活力あるものに変えるに 本庁舎整備、 志あるリ 事実を、 ダ 不動の そして現状を正 国体開催、 と市民の皆さま で現状を正確 平成26年度 新エネ その作

ル」による「再生

地域づくりに、 遠野を担う市民の皆さまの「夢」と 「希望」をしっ そして将来を見据え、 かり受け止めるため 全身全霊を傾けてまり受け止めるための から



今後4年間について所信表明する本田市長



7 広報遠野● 2014-01

2014-01 ●広報遠野 6